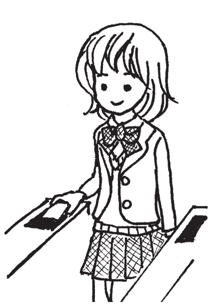
こんにちは日本共産党です
週刊
八千代市議団ニュース
堀口 明子 ☎047(752)0453　植田 進 ☎047(487)9754
伊原　忠 ☎047(488)7207
市議団ホームページ http://jcp-yachiyo.jp/
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第２８３号
2016 年９月５日
発　行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
３１２－５

東葉高速の通学定期引き下げを

首都圏で１、2位を争う東葉高速鉄道の高い運賃は、利用者に大きな負担になっています。とりわけ通学利用者は、全額保護者負担で家計を圧迫しています。「通学定期を引き下げてほしい」という声は切実です。

現在、東葉高速鉄道の通学定期割引率は６５％です。２年前に５５％から１０％引き上げました。しかし、並行して走っている他の鉄道会社と比較するとまだ割高です。京成本線の割引率は８０％、ＪＲは７０％です。「せめてＪＲ並みに引き上げてほしい」との声が寄せられています。



東葉高速鉄道は、「輸送人員が伸びても運輸収入が落ち込み経営を圧迫する」と割引率の引き上げに消極的です。

通学定期引き下げの財源はあります

東葉高速鉄道の2015年度決算によれば年間輸送人員は、開業以来最高となる5282万人で前年度より3.3%増えています。経常利益は２８億円、純利益は１８億円です。内部留保も250億円（うち現金預金は162億円）を超えています。営業利益は４期連続で５０億円台を確保し、６期連続で経常利益と当期純利益を計上しています。

鉄道建設時の長期債務（借金）は、最近５年間で約3000億円から2722億円まで圧縮しています。毎年６０億円を超えて借金を減らしています。

前回の2014年の通学定期の割引率引き上げの影響は、約２億円程度と見込まれています。その一方「値下げ後は通学定期の利用者数も高い伸びを示しています」（『SUBWAY』2016 年５月号）と値下げのメリットも高梨社長は語っています。割引率５%引き上げる影響は、約１億円程度です。これからの乗降客の伸びや純利益１８億円からみれば、割引率の引き上げは十分可能です。

八千代市は強い姿勢で運賃引き下げを

八千代市は大変厳しい財政状況の中で、これまで東葉高速鉄道に、130億円を超える財政支援を行ってきました。八千代市は、船橋市の４分の１の財政規模ですが、船橋市や千葉県とほぼ同額を支援してきました。

東葉高速鉄道支援の原資が市民の税金であることはいうまでもありません。八千代市民には東葉高速鉄道に対し、運賃、通学定期引き下げを求める根拠と理由があります。八千代市は、運賃の引き下げとともに、通学定期の割引率のさらなる引き上げを、東葉高速鉄道に対し強く求めるべきです。

なお、八千代市の東葉高速鉄道の支援は、支援期間満了により2016年度を持って終了します。ただし利子補給は継続されます。